熊谷市
記者クラブ取材情報

令和4年11月25日発表
担当課:スポーツ観光課

タイトル
「くまがや雪くまガイド」がふるさとパンフレット大賞（第10回）「マックン賞」を受賞しました！

1．日時

2．場所

3．事業概要

（一社）熊谷市観光協会が令和４年６月に発行した「くまがや雪くまガイド」が、（一社）地域活性化センター主催の「地域プロモーションアワード２０２２　ふるさとパンフレット大賞（第１０回）において、応募総数１０８作品の中から「マックン賞」を受賞しました。

ふるさとパンフレット大賞とは
（一社）地域活性化センターが、ふるさとの魅力を発信するプロモーションを支援するため、地域の魅力を独自のセンスで発信している優れたパンフレットを表彰し、全国に紹介するもの

応募数：１０８点
受賞作品数：７点

大賞：佐賀県・長崎県「ＳとＮ　６号」
優秀賞：三重県いなべ市　「いなべ、暮らしを旅する。２０２２」
南伸坊賞：長野県松本市（松本広域連合）　「da・da」
楓千里賞：大阪府東大阪市　「トライくんの東大阪だいぼうけん」
パックン賞：秋田県にかほ市　「漁師図鑑」
マックン賞：埼玉県熊谷市　「くまがや雪くまガイド」
地域活性化センター賞:新潟県南魚沼市　「COLOR of Minamiuonuma」

4．特徴やPRポイント

熊谷市が「ふるさとパンフレット大賞」を受賞するのは、今回が初めてです。
「雪くま」で暑い熊谷の夏を涼しくおいしく過ごせますようにという想いを込めて、（一社）熊谷市観光協会と共同で制作しました。
「くまがや雪くまガイド」の制作にあたっては、１ページにつき１店舗紹介形式で、商品写真を大きく掲載して各店舗こだわりの商品を前面に押し出すようなデザインとしました。
例年は店舗から商品写真を提供していただいていましたが、今回はプロのカメラマンに撮影を依頼し、写真の統一感を出せるよう努めました。
また、複数の雪くまを食べ歩いていただきたく、持ち歩きしやすいようサイズにもこだわりました。

5．その他

【問合せ先】
（一社）熊谷市観光協会　048-594-6677（平日8：30～17：15）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　総合政策部スポーツ観光課　黛
連絡先　048-524-1111　内線312

ふるさとパンフレット大賞（第１０回）審査委員

マックン賞

埼玉県熊谷市

くまがや雪くまガイド



作品概要

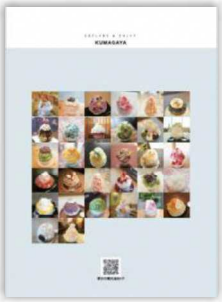
複数の雪くまを食べ歩いていただきたく、持ち歩きしやすいようA5サイズの冊子で作成しました。

1ページにつき1店舗紹介形式で、商品写真を大きく掲載して各店舗こだわりの商品を前面に押し出すようなデザインとした。

写真の統一感を出したかったため、例年は店舗から商品写真を提供していただいていたが、今回はプロのカメラマンに撮影を依頼しました。







WＥＢパンフレットはこちら。
https://www.oideyo-kumagaya.com/cate-info/13140/



マックン 審査委員

審査コメント

毎年夏になると「日本の最高気温」の記録塗り替えの常連となっている熊谷ならではの、かき氷推しパンフレット。写真のインパクトとパンフレットを持って食べ歩き、店探しをしたくなる一冊。ということでマックン賞に選ばせて頂きました。パンフレット全体はここ数年、移住と観光の二極化になってきていて、どちらも色々な角度から「我が町」の魅力を上手く表現して審査が難しくなってきています。でも、本当にみんな素晴らしいパンフレットで審査に困ります。

受賞団体コメント

この度は大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。

２０１８年７月に国内の観測史上最高気温４１.１度を記録した熊谷市。昔から美味しいといわれている熊谷市の「水」を活かし、「夏の暑さ」を逆手にとって、ブランド化したかき氷が“雪くま”です。熊谷のおいしい水から作った貫目氷を雪のようにふわふわに削り、各店のオリジナルシロップを使用しています。

「くまがや雪くまガイド」は、そんな熊谷のご当地かき氷“雪くま”の魅力を紹介する冊子です。“雪くま”で暑い熊谷の夏を涼しく美味しく過ごせますようにという想いを込めて熊谷市観光協会と共同で制作しました。制作にあたっては、１ページにつき１店舗紹介形式で、商品の写真を大きく掲載して各店舗こだわりの商品を全面に押し出すようなデザインとし、また、持ち歩きしやすいようサイズにもこだわりました。

今回の受賞をきっかけに“雪くま”の魅力を多くの方に知っていただき、このガイド冊子を手にお気に入りの“雪くま”を見つけに熊谷を訪れていただければ幸いです。